『てくてく』さん、よろしくね!

返し踊るうちに、しました。2回、 ってもいい顔。 顔がいっぱいあふれて、 かわい

▶みんなで ダンス!!

ゲ畑には、

まるちゃ

| ップ」の歌でペープ# | の上ではずかしそう。 って二コニコ。「アニレ)に寄ってきて一緒にペー 『てくてく』 "てくてく』のであいの塔ホー といっ に加わり、 ひとり、 しょにおどろう!」 さんも目を輝かせて、 』のお友だちと第一回ホールにおいて、体験に でも、 プサー 「チュ

3回とくり

を演奏したのですが、お母さんのひざ子どもたちがうたったりメロディベルの交流会をしました。最初、保育園の育『てくてく』のお友だちと第一回目 が流れてくると体でリズムをとり始め てニコニコ。「アヒルのダンス」の曲 り、楽しそうに踊り出、またひとりとダンスおどろう!」と誘いに を始めると ト を 持 回験目保 そば もと IJ

おさんぽにでかけたよ



た。いながらレンゲ畑に到着しましいながらレンゲ畑に到着しましみんなしていこう…」と歌を歌に出発!「 おさんぽにいこう、 ち。皆、うれしそうにレンゲ畑と笑顔で登園してくる子どもた 早く行こう!!

そのとき、「テントウムシみぃ 一面のレンゲ畑に子どもたち つけた!!

来ていたんだね。 く子どもたち。 という声に「どこ、どこ?」と走って カエルいたよ」「バッタもいたよ」とうく子どもたち。するといろいろな所で、 4に入れて持って帰りさるちゃんのために、大足 しそうな声が聞こえてきました。レンハエルいたよ」 「 バッタもいたよ」 とう れて持って帰りました。 まるちゃんのために、大切に観察ケースの、 園でかっているダンゴムシのま 皆の他にもたくさんお友達が んのお友達、 連れて帰ろう

わくわくセミナー



熱心に説明を聞く生徒たち

ます。

そこで、

に拍車がか 在の情報化

もすれば受け身的になりがちです。

がかかっていることが推察できています。日々の生活はややは、主体的に生きる」ことには「主体的に生きる」ことには「主体的に生きる」ことには「主体的に生きる」ことには「主体的に生きる」のはらいは新教育課程に基づく総合的は新教育課程に基づく総合的

とが期待できます。「主体的に生きる」ける力」となる基礎が培われていくこ

ためには学習における基礎基本

はもち

え創造的に物事を捉えることで「豊かとにより、活字を映像や音声などに換

活字を映像や音声などに短時間でも読書に親しむ

むこ

な心」を育み、「生涯にわたって学び続

| 替えした時間として位置づいていまいうこの活動。 従来のクラブ活動になって、思う存分追求していこ み物セミナー、 とを週一回、 対象に「わくわくセミナーを校では本年度から、 エンジョイイングリッシュ講座、 等々、 ユニバー 17 七回にわたる楽しい活動を組いしながら、七月までの合計は地域の方々にもご協力をお願 教師自身が講師になっ 今年開設された講座は合 教師と子どもたちが一 墨絵講座、 サルホッ ケー 従来のクラブ活動を衣 トライ保母 が始まり にいこうとにちが一緒

編

喜瀬

たり、

わく」 織しました。 さて、 が待って 今週はどん いるの か

どん広がっていくのが楽子どもたちの眼の輝きが な金曜午後のひとときです。 んどみん な ?

朝読書と生きる力

読書が始まっています。

こ 朝 れ の

四月から中学校では、

集中し、読書する生徒たち

播磨中学校

四~



リレーエッセー47

にできた ウ 才

退職す どは性に合わない。 そこで考えたのが、 さり خر" 新しい

るさと再発見ガイドブックた播磨町制四十周年記念誌「

はふ

各家庭に配布され

に移し 手軽に続けられそうな "屋外時発見のように思えた。定年後も めである。 無理のないコースを選んで実行 るのに気付い ズム作りの「時間割」設定であ そんな中「歩くこと」 何より健康的である。早速、 た。 私のいわば、 た。 われながら大 歩き初 があ

ど難しいものはないな・ 三日坊主の連続である。「タダほ きらめずにちょっと外出するに 感したのもそのころ。 なかなかうまくい ズも新調した。 いかない。 ところ と痛

を迎えて一抹の不安があっ 五年も前のことになるが、定年 易しそうで難しい。もう十四

て、"濡れ落ち葉 " な、毎日が日曜日とな

心身ともにさわやかはないか。例えば 四国八十八ヵ所を歩いて巡拝で なったなど。 きたのも、 ように心掛けていった。 すると、 良さが徐々に分かってきたで 極力乗り物は使わず、 不思議とカゼをひかなく どうだろう...。 日ごろ歩いていたお 過年、千二百#0の かになる。

歩いた後、

さ

正木 正宣

などです きる一般家庭、 受けたり、

、受けそうになったい行為などの被害を

きまとい

などで子どもたちが

海漢や

りしたときに安心して避難で

商店、

事業所

ことは、

り、犯罪を未然に防ぐため平 子どもたちを不審者から守

「子どもをまもるれんらくしょ」とは

ご家庭でも、

の「子ど

では地域住民が一丸となって

見やすいところに左のマー の看板を掲示してい

ク

しょ」には、門扉、店先など

「子どもをまもるれ

連携し、子どもたちが危険を 成九年七月から連合PT

ない、ひとりで遊ばないなどに、知らない人について行か場所を確認しておくと同時もをまもるれんらくしょ」の

つでも駆け

子どもをまもるれんらく

の指導をお願いない、ひとりで落

っている とに感謝しながら、 己流の "悟り "を開くまでにな考につながっていく"という自 日々暮らしの中で、 かげと得心している。 ら元気・元気だから歩ける」こ すると、道中の雑念はプラス思 ろ、歩くと心にゆとりができる。 専門家に譲るとして、 歩きの効能やテクニッ ಠ್ಠ これからも「 短時間にし キングを続 歩くか 今では クなど

庭に協力していただいていま

広

りしてきた。

ところで、「歩くこと」。

今流

キングであるが、

これらのニコー

スを早々に一回

きましょうというもの。

春の日、

喜瀬川べりの桜を満喫しながら、

けて、それぞれ約十#『を見て歩

水辺・緑」

の二つのコー 町内を「歴史」

そ

れ

て・見よう

" はりマップ

" 」 歩 で い

ジを発見した。「特集ー りマップ」の中に、

楽しい

武雄さん 梅田 (二子)

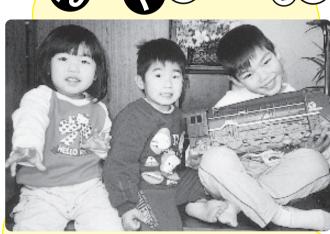
趣味 模型飛行機作り

昔の飛行少年。屋外で飛行機の爆 音を耳にすると、機影を探す習慣が あり、未だに直らない。

伴い犯罪の形態も、環境は年々多様化し ってきています。比較にならないほど複雑にな を温かく見守り危険から守る こうした中で、 子どもたちを取り巻く社会 播磨町・ 大人の責任とも言え 町教育委員会 子どもたち 以前とは

歩き

歩く



金山 ぁゕね 朱歌音ちゃん (3さい)野添

大野 峻くん (5さい)野添

かなやま 雄也くん (6さい)野添

3人仲良く元気に育ってね

このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を 募集しています。(3歳~5歳対象)広報担当まで電話を。 またスナップ写真を送ってもらってもけっこうです。